

1. 媒体作成条件

項番	項 目	内 容							
1	作 成 単 位	同一料金月、同一料金群でお客さま単位（会社コード単位）							
2	作 成 対 象 サ ー ビ ス	統合請求（国際電話サービス・国際専用サービス等契約回線分）							
3	フォーマット形式	3. 5インチFD				CD-R	MO	EDI解凍時	
		2HD		2DD		650 MB	128 MB	2HD	
		1.25 MB	1.44 MB	640 KB	720 KB			1.25 MB	1.44 MB
4	最大出力件数 （圧縮時）	2,400 レコード	2,800 レコード	1,200 レコード				2,400 レコード	2,800 レコード
		(19,200)	(22,400)	(15,000)				圧縮なし	
5	使用コード	MS-DOS：JISコード IBM：EBCDICコード				MS-DOS：JISコード			
6	レコード長	MS-DOS：固定長。 512バイト+2バイト （復帰、改行コードが付加されます） IBM：固定長。512バイト				MS-DOS：固定長。 512バイト+2バイト （復帰、改行コードが付加されます）			
7	ファイル形式	MS-DOS： 固定長テキストファイル形式。 IBM：固定長ファイル形式。 （1枚に収めきれない場合は、 同一ファイル名で、複数枚作成しま す。）				MS-DOS： 固定長テキストファイル形式。			
8	ファイル名	【FD、MO、CD-R】 W+会社コード（会社コード→弊社がお客さま識別 するために付与した識別コード5桁） 例：W12345 圧縮時：W+会社コード+拡張子 例：W12345nn.exe（nn：FD作成通番。01～99）						データ保存時、お 客様にて任意設 定。	
		【EDI】 V+請求回数（0～9）+請求年（西暦下2桁）+月（1～9、A、 B、C）+群（1～9、A～V）+通番（01～99）							

<圧縮について>

お客さま提供データの圧縮希望時は、フリーソフトウェアの「高圧縮管理プログラムLHA」を使用し、自己解凍形式（プログラム形式）で圧縮します。

【圧縮したデータの解凍手順】

- （1）実行ファイル（拡張子.exeのファイル）をハードディスク等にコピーし、ダブルクリックします。
- （2）実行ファイルが自動的に国際番号別明細内訳書の各ファイルを読み出してファイルの復元を行います。

2. ファイル構成

管理レコード	請求単位データ1	～	請求単位データn	会社合計レコード
--------	----------	---	----------	----------

国際回線番号別内訳 レコード 1番目	国際回線番号別内訳 レコード2 1番目	～	国際回線番号別内訳 レコード2 N番目		国際回線番号別内訳 レコード 1番目	国際回線番号別内訳 レコード2 1番目	～	国際回線番号別内訳 レコード2 N番目	請求書作成番号合計 レコード 1番目	請求書作成番号合計 レコード2 1番目	～	請求書作成番号合計 レコード2 N番目
国際回線番号1番目					国際回線番号N番目				ご請求番号1番目			

1. 同一電番の情報が、「国際回線番号別内訳レコード」に収まらない時、オーバー分を「国際回線番号別内訳レコード2」として格納する。
2. 又、「国際回線番号別内訳レコード2」は複数レコード存在する場合があります、「国際回線番号別内訳レコード」から「レコードNO」をシーケンスで付与する。
3. 請求書作成番号合計レコードも上記と同様の構成となる。

3. レコード構成

(1) 管理レコード

会社コード	予備	データ種類	予備	請求期別・年	請求期別・月	請求期別・群	媒体通番	網種別	媒体識別	請求回数	詳細群	予備
5	6	2	4	4	2	1	2	1	3	1	1	480

(計、512 桁)

(2) 国際回線番号別内訳レコード

国際回線番号	定期分割区分	データ種類	レコードNO	レコード数	ご請求番号	部課別コード	減算不能区分	国際サービス種類	予備
10	1	2	2	2	10	6	1	2	11

ご利用期間基本料等初日	ご利用期間基本料等末日	国際通話等初日	国際通話等末日	検針日前回	検針日今回	予備	国際通話料・今月分	予備	ご請求額	予備
4	4	4	4	4	4	10	10	35	10	5

請求内訳 1					請求内訳 2 ↳ 請求内訳 1 6	請求内訳 17※					予備
利用内訳コード 1	請求内訳コード 1	内訳金額 1	残回数 1	税区分 1		利用内訳コード 1 7	請求内訳コード 1 7	内訳金額 1 7	残回数 1 7	税区分 1 7	
2	4	10	3	2	315	2	4	10	3	2	14

(計、512 桁)

※請求内訳は、1レコード最大17内訳まで収容します。同一回線番号で18内訳以上の請求内訳がある場合、18内訳目以降は、第2レコード以降に収容します。

(3) 国際回線番号別内訳レコード2

国際回線番号	定期分割区分	データ種類	レコードNO	レコード数	ご請求番号	部課別コード	予備	国際サービス種類	予備
10	1	2	2	2	10	6	1	2	105

請求内訳1					請求内訳2 ご請求内訳16	請求内訳17※					予備
利用内訳コード1	請求内訳コード1	内訳金額1	残回数1	税区分1		利用内訳コード17	請求内訳コード17	内訳金額17	残回数17	税区分17	
2	4	10	3	2	315	2	4	10	3	2	14

(計、512桁)

※同一回線番号で、請求内訳が35内訳以上ある場合、第3レコード以降に収容します。第3レコード以降のレコードフォーマットおよびレコード内容については第2レコードと同一となります。

(4) 請求書作成番号合計レコード (ご請求番号単位)

ご請求番号	予備	データ種類	レコードNO	レコード数	予備	部課別コード	予備	ご利用期間基本料等初日	ご利用期間基本料等末日	国際通話等初日	国際通話等末日
10	1	2	2	2	10	6	14	4	4	4	4

検針日前回	検針日今回	予備	国際通話料・今月分	予備	請求合計金額	請求件数	金融機関コード	口座番号	口座名義	予備	送付先名	予備
4	4	10	10	35	10	8	7	8	40	5	40	268

(計、512桁)

(5) 請求書作成番号合計レコード2

ご請求番号	予備	データ種類	レコードNO	レコード数	予備	部課別コード	予備
10	1	2	2	2	10	6	108

請求内訳 1					請求内訳 2 ↳ 請求内訳 1 6	請求内訳 17※					予備
利用内訳コード 1	請求内訳コード 1	内訳金額 1	残回数 1	税区分 1		利用内訳コード 1 7	請求内訳コード 1 7	内訳金額 1 7	残回数 1 7	税区分 1 7	
2	4	10	3	2	315	2	4	10	3	2	14

(計、512 桁)

※同一請求番号で、請求内訳が18内訳以上ある場合、第3レコード以降に収容します。第3レコード以降のレコードフォーマットおよびレコード内容については、第2レコードと同一となります。

(6) 会社合計レコード

会社コード	予備	データ種類	予備	会社合計請求額	会社合計請求件数	予備
5	6	2	4	12	8	475

(計、512 桁)

4. データレコード内容

(1) 管理レコード

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	会 社 コ ー ド	文字	5	弊社がお客さま単位に設定した番号 例：「30009」
2	予 備	文字	6	
3	デ ー タ 種 類	文字	2	「01」を設定
4	予 備	文字	4	
5	請 求 期 別 ・ 年	文字	4	西暦4桁で記録
6	請 求 期 別 ・ 月	文字	2	「01」～「12」を設定
7	請 求 期 別 ・ 群	文字	1	「1」～「6」を設定 (コード表「項番5、料金群・詳細群」参照)
8	媒 体 通 番	数字	2	「01」を設定
9	網 種 別	文字	1	「4」…国際
10	媒 体 識 別	文字	3	FD の場合…「FD△」 EDI の場合…「EDI」 MO の場合…「MO△」 CD-R の場合…「CDR」 ビリングステーション（注1）をご契約の場合…「BS△」
11	請 求 回 数	文字	1	同一請求番号で、同一期別内に請求書を発行した回数 (料金群変更時等) ＊ 再発行は対象外 ＊ 回数は0から起算
12	詳 細 群	文字	1	詳細群を「A」～「V」、-「0」-「1」～「9」 で設定 (コード表「項番5、料金群・詳細群」参照)
13	予 備	文字	480	

（注1）：ビリングステーションとは、電話等サービスの「料金・通話明細データ」を専用 Web サーバーからダウンロードできるオンラインサービスです。

(2) 国際回線番号別内訳レコード

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	国 際 回 線 番 号	文字	10	国際回線番号を設定 (項番5「国際回線番号について」を参照)
2	定 期 分 割 区 分	数字	1	「0」を設定
3	デ ー タ 種 類	数字	2	「11」を設定
4	レ コ ー ド N O	数字	2	同一回線番号でのレコードNoを設定
5	レ コ ー ド 数	数字	2	同一回線番号でのレコード数を設定
6	ご 請 求 番 号	数字	10	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例:「0001234567」
7	部 課 別 コ ー ド	数字	6	ALL「0」 お客様がご契約番号単位に設定した部課別コード 設定ありの場合:「000001」～「999999」 設定なしの場合:「000000」を設定
8	減 算 不 能 区 分	数字	1	(コード表「項番1、減算不能区分コード」参照)
9	国 際 サ ー ビ ス 種 類	文字	2	国際サービス種類を設定 (コード表「項番6、非電話サービス種類」参照)
10	予 備	文字	11	
11	ご利用期間基本料等初日	数字	4	利用期間の初日(開始)および末日(締切)を設定 例: 初日 10月 1日→1001 末日 10月31日→1031
12	ご利用期間基本料等末日	数字	4	
13	国 際 通 話 等 初 日	数字	4	
14	国 際 通 話 等 末 日	数字	4	
15	検 針 日 前 回	数字	4	オールゼロを設定
16	検 針 日 今 回	数字	4	
17	予 備	文字	10	
18	国 際 通 話 料 ・ 今 月 分	数字	10	今月分の国際通話料を設定 例: 5250 円の場合→「0000005250」 (右詰で不足桁分は、ゼロ埋め)
19	予 備	文字	35	
20	ご 請 求 額	数字	10	当該回線番号の請求額 例: 5250 円の場合→「0000005250」 マイナス金額の場合、符号付編集 (コード表「項番4、内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
21	予 備	文字	5	

次項へ続く

(2) 国際回線番号別内訳レコードの続き

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
22	請求内訳 1	利 用 内 訳 コー ド ` 1	数字	2	(コード表「項番 3、利用内訳コード」参照)
		請 求 内 訳 コー ド ` 1	文字	4	(コード表「項番 7、請求内訳コード」参照)
		内 訳 金 額 1	数字	1 0	請求内訳コード毎の金額を出力 マイナス金額の場合、符号付編集 (コード表「項番 4、内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
		残 回 数 1	文字	3	オールスペースを設定
		税 区 分 1	数字	2	(コード表「項番 4、税区分コード」参照)
23	請求内訳 2 ～ 請求内訳 1 6			315	2 個目以降の請求内訳を示し、内訳が存在しない場合は、オールスペースを設定 (請求内訳は最大 1 7 内訳までを本レコードに編集し、1 8 内訳を超える場合は「(3) 国際回線番号別内訳レコード 2」に編集)
24	請求内訳 17	利 用 内 訳 コー ド ` 1 7	数字	2	
		請 求 内 訳 コー ド ` 1 7	文字	4	
		内 訳 金 額 1 7	数字	1 0	
		残 回 数 1 7	文字	3	
		税 区 分 1 7	数字	2	
25	予 備	文字	1 4		

(3) 国際回線番号別内訳レコード2

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
1	国 際 回 線 番 号		文字	10	国際回線番号を設定 (項番5「国際回線番号について」を参照)
2	定 期 分 割 区 分		数字	1	「0」を設定
3	デ ー タ 種 類		数字	2	「11」を設定
4	レ コ ー ド N O		数字	2	同一回線番号でのレコードNoを設定 例:「02」～「99」
5	レ コ ー ド 数		数字	2	同一回線番号でのレコード数を設定
6	ご 請 求 番 号		数字	10	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例:「0001234567」
7	部 課 別 コ ー ド		数字	6	ALL「0」 お客様がご契約番号単位に設定した部課別コード 設定ありの場合:「000001」～「999999」 設定なしの場合:「000000」を設定
8	予 備		文字	1	
9	国 際 サ ー ビ ス 種 類		文字	2	国際サービス種類を設定 (コード表「項番6、非電話サービス種類」参照)
10	予 備		文字	105	
11	請求内訳1	利用内訳コード ¹	数字	2	(コード表「項番3、利用内訳コード」参照)
		請 求 内 訳 コ ー ド 1	文字	4	(コード表「項番7、請求内訳コード」参照)
		内 訳 金 額 1	数字	10	請求内訳コード毎の金額を出力 マイナス金額の場合、符号付編集 (コード表「項番4、内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
		残 回 数 1	文字	3	オールスペースを設定
		税 区 分 1	数字	2	(コード表「項番4、税区分コード」参照)
12	請求内訳2～請求内訳1			315	
13	請求内訳17	利用内訳コード ¹⁷	数字	2	2個目以降の請求内訳を示し、内訳が存在しない場合は、オールスペースを設定 (請求内訳は最大17内訳までを本レコードに編集し、18内訳を超える場合は「(3) 国際回線番号別内訳レコード2」[第3レコード(レコードNO「03」)以降]に編集)
		請 求 内 訳 コ ー ド 1 7	文字	4	
		内 訳 金 額 1 7	数字	10	
		残 回 数 1 7	文字	3	
		税 区 分 1 7	数字	2	
14	予 備		文字	14	

(4) 請求書作成番号合計レコード

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	ご 請 求 番 号	数字	10	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例：「0001234567」
2	予 備	文字	1	
3	デ ー タ 種 類	数字	2	「51」を設定
4	レ コ ー ド N O	数字	2	同一ご請求番号でのレコードNoを設定
5	レ コ ー ド 数	数字	2	同一ご請求番号でのレコード数を設定
6	予 備	文字	10	
7	部 課 別 コ ー ド	数字	6	オールゼロを設定
8	予 備	文字	14	
9	ご利用期間基本料等初日	数字	4	利用期間の初日（開始）および末日（締切）を設定 例：初日 10月 1日→1001 末日 10月 31日→1031
10	ご利用期間基本料等末日	数字	4	
11	国 際 通 話 等 初 日	数字	4	
12	国 際 通 話 等 末 日	数字	4	
13	検 針 日 前 回	数字	4	オールゼロを設定
14	検 針 日 今 回	数字	4	
15	予 備	文字	10	
16	国 際 通 話 料 ・ 今 月 分	数字	10	今月分の国際通話料を設定 例：1000000 円の場合→「0001000000」 （右詰で不足桁分は、ゼロ埋め）
17	予 備	文字	35	
18	請 求 額 合 計	数字	10	請求書作成単位の請求額 例：1000000 円の場合→「0001000000」 （右詰で不足桁分は、ゼロ埋め）
19	請 求 件 数	数字	8	請求書作成単位の国際回線番号数 例：100 回線の場合→「00000100」 （右詰で不足桁分は、ゼロ埋め）
20	金 融 機 関 コ ー ド	文字	7	口座振替の場合、金融機関コード 口座振替以外は、オールスペースを設定
21	口 座 番 号	文字	8	口座振替の場合、口座番号 口座振替以外は、オールスペースを設定
22	口 座 名 義	文字	40	口座振替の場合、半角カナ左詰めの口座名義 口座振替以外は、オールスペースを設定
23	予 備	文字	5	
24	送 付 先 名	文字	40	請求書送付先氏名を半角カナ左詰めで出力
25	予 備	文字	268	

(5) 請求書作成番号合計レコード2

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
1	ご 請 求 番 号		数字	1 0	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例：「0001234567」
2	予 備		文字	1	
3	デ ー タ 種 類		数字	2	「51」を設定
4	レ コ ー ド N O		数字	2	同一ご請求番号でのレコードNoを設定
5	レ コ ー ド 数		数字	2	同一ご請求番号でのレコード数を設定
6	予 備		文字	1 0	
7	部 課 別 コ ー ド		数字	6	オールゼロを設定
8	予 備		文字	108	
9	請求内訳 1	利 用 内 訳 コー ド 1	数字	2	(コード表「項番 3、利用内訳コード」参照)
		請 求 内 訳 コー ド 1	文字	4	(コード表「項番 7、請求内訳コード」参照)
		内 訳 金 額 1	数字	1 0	請求内訳コード毎の金額を出力 マイナス金額の場合、符号付編集 (コード表「項番 4、内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
		残 回 数 1	文字	3	オールスペースを設定
		税 区 分 1	数字	2	(コード表「項番 4、税区分コード」参照)
10	請求内訳 2～請求内訳 1 6			315	
11	請求内訳 17	利 用 内 訳 コー ド 1 7	数字	2	2 個目以降の請求内訳を示し、内訳が存在しない場合は、オールスペースを設定 (請求内訳は最大 1 7 内訳までを本レコードに編集し、1 8 内訳を超える場合は「(5) 請求書作成番号合計レコード 2」[第 3 レコード (レコード No「03」)以降]に編集)
		請 求 内 訳 コー ド 1 7	文字	4	
		内 訳 金 額 1 7	数字	1 0	
		残 回 数 1 7	文字	3	
		税 区 分 1 7	数字	2	
12	予 備		文字	1 4	

(6) 会社合計レコード

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	会 社 コ ー ド	数字	5	お客様を識別するコードを設定 例：「30009」
2	予 備	文字	6	
3	デ ー タ 種 類	数字	2	「91」を設定
4	予 備	文字	4	
5	会 社 合 計 請 求 額	数字	12	会社コード単位の請求額合計を設定 例：1000000 円の場合→「000001000000」 (右詰で不足桁分は、ゼロ埋め)
6	会 社 合 計 請 求 件 数	数字	8	会社コード単位の国際回線番号数合計を設定 例：100 回線の場合→「00000100」 (右詰で不足桁分は、ゼロ埋め)
7	予 備	文字	475	

5. 国際電話サービス契約の国際回線番号について

国際回線番号欄へは、お客さまとの契約番号である国際 I D 番号（12 桁）を 10 桁に変換した国際回線番号が出力されています。
変換方法は、次のとおりです。

① 国際 I D（お客さま番号）

T X X X X X X X X Y Y Y (12 桁)

固定 お客さま識別コード 連番 (001~999)

※国際 I D（お客さま番号）は、各種国際電話サービスご利用契約時、弊社にてお客さま識別番号として付与いたします。

② 変換方法

	変換内容等
T	出力しない。
X X X X X X X X	そのまま出力する。
Y Y Y	2 桁に変換して出力する。

③ 「Y Y Y」の 2 桁への変換方法

ア. 「0 0 1 ~ 0 9 9」の場合

1 0 の位と 1 の位をそのまま出力します。

「0 0 1 ~ 0 9 9」 → 「0 1 ~ 9 9」

イ. 「1 0 0 ~ 1 0 9」の場合

1 0 0 の位と 1 0 の位を英字に変換します。

「1 0 0 ~ 1 0 9」 → 「A 0 ~ A 9」

「1 1 0 ~ 1 1 9」 → 「B 0 ~ B 9」

「3 5 0 ~ 3 5 9」 → 「Z 0 ~ Z 9」

ウ. 「3 6 0 ~ 9 9 9」の場合

すべての位を英字に変換します。

「3 6 0 ~ 3 8 5」 → 「A A ~ A Z」

「9 8 4 ~ 9 9 9」 → 「Y A ~ Y O」

【変換例】

(変換前)

(変換後)

「T 1 2 3 4 5 6 7 8 **0 0 1**」 → 「1 2 3 4 5 6 7 8 **0 1**」

「T 1 2 3 4 5 6 7 8 **1 2 3**」 → 「1 2 3 4 5 6 7 8 **C 3**」

「T 1 2 3 4 5 6 7 8 **3 8 6**」 → 「1 2 3 4 5 6 7 8 **B A**」

注) : 本頁に記載の内容については、「国際電話サービス」契約回線が対象となります。
「国際専用サービス」契約回線については、該当いたしません。